郷土の散歩

⑧ 間瀬銅山史

風土記に言う、『間瀬村は海岸にして、村民漁猟、或は船運送を業とす。』間瀬の文字南雲（まぜ）とも書く』又北越大平記に言う『五十嵐太須賀は南雲が浦より出羽国を指して引退所を為方本庄大和守房長磯伝いに待ち受け先を遮って、戦攻戦と見えたり』又同書河中島注進状の中に『上杉方南雲治郎左衛門横合に突掛り道筋を突崩申候』とあり、此地に銅山あり名寄に云う『彌彦庄右瀬村に元禄年中銅の蔓見立て掘けれども若くして止む、間瀬浦にて、文久年中銅の蔓を見立て掘りしに不足にて、止めたり』蓋し、弥彦山中左の三ヶ所を併称して多宝山と言うは之がためなる可し……弥彦角田山塊のほか一面低平な本郡は、生成年代も新しく著名な現代的意義をもつ銅山はない、幕府以来間瀬銅山が一時栄えたが今は廃坑となっている。同山は元禄三年新潟の大和田一郎平の創業といわれ、幕府より資金を借りて稼行し慶応四年に一時中止した。後再び再坑、二千二百尺の一番坑から八番坑に至ったがその後廃坑され今日に至っている。また田辺善兵衛、清水八左ェ門の開発とも言われている。

享保元年、時の寺泊役所へ報告した書類がある。

『渡部組野積村間瀬村銅山一巻書上受覚』

一、間瀬村銅山場所深ヶ沢鍋割と甲両所御座候、間瀬村より野積村往環延里間瀬より寺泊延三里……（後略）

一、元禄拾三年辰暮村上より被仰付候はばお江戸に田辺善兵衛、清水八左ェ門と甲者御上へ御候……（後略）

一、元禄十四年己六月江戸より山師善兵衛と甲者罷越間瀬村山之内に小屋掛仕七月より深ヶ沢と甲処堀始甲候

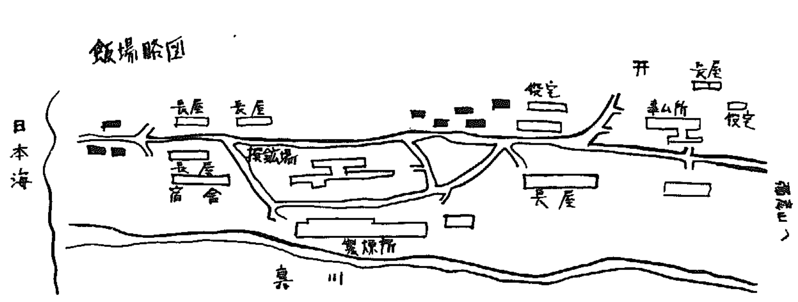
一、同九月清水八左ェ門江戸より罷越田辺善兵衛は江戸へ……（後略）

享保元年由九月

野積村庄屋　常右ェ門

間瀬村庄屋　伝右ェ門（宝輪）

〃　新左ェ門（柏原）



これらの書類によると採堀事業は五年で終っている。中止の理由は生産高の減少と上納の割に多かったこと番所の役人に対する費用がかさんだ、経営方法の不備がある。当地方に於ける採堀は元禄年間における幕府の鉱山開発奨励の影響によるものと思われる。元禄年間に中止された後、元文中にも再坑された。当時村民はそれらの採堀にどんな感情を持っていたのであろうか。享和二年寺泊湊町住民、伊兵衛なる者の甲出一件に関する文書『御尋付乍恐以書付奉中上候』……によると、燃料の置場や芽置場がなくなること、銅山開発の際、旅人が多く入り込み、風紀をみだし、バクチをしたり、不法な行ない多く非常に迷惑した苦い経験にかんがみ上司に訴えって阻止してしまった。明治になるまで村人達は銅山事業は扱遠されていたようである。

明治期の採掘

『天保年間に針屋源治右ェ門なる者、大阪の人等と相謀り採堀せることもあり又明治初年、石塚安平なる者、佐渡の人某と相与に開堀せることもあり、個人として小仕に採堀せるも亦極めて多く云う』資料がなくて詳細は不明であるが、小規模的にしじゅう堀られていたようである。今は坑口を訪れると、落盤事故で死んだ人だろう。立派な石墓が雑草の中に眠っている。

大正期の採掘

普通『間瀬銅山』といわれているのは『真沢』地内真川流一帯を言い江戸、明治の発堀はこの辺一帯に集中してた。大正元年より四年迄が最盛期で製煉所も設置するほどであったが、産出量の減少銅の下落等により、大正九年に閉鎖した、最盛期の作業状況

坑夫一三五人、堀子五〇人、支柱夫四人運搬夫二〇人、製煉夫八人、撰鉱夫三〇人、坑外運搬夫三〇人

生産量一ヶ月六〇屯

鉱石の最高品位七〇%〜九八%

品位全国五位

その他、大刀川鉱山、鉢前銅山、赤滝銅山等があったが間瀬銅山と同じ運命をたどった。

坑夫街の生活

職業からくる特殊事情により刹那主義ぜいたく、派手であった。最盛期には、従業戸数七五戸家族二三〇人、他に合宿所二ヶ所五〇人で、学童は二〇人位で現在の小学校まで、毎朝六時に家を出た。風浪の烈し時は海辺の危険な場所があるため朝夕二人位で送り迎えした。日常生活品は割当で仕事内容に応じて、配分し新潟から鉱石を運んだ帰路や本村の店（紅屋、森田屋）より舟で運んだ、銅山祭りは、全山に御神燈を飾り一段と賑やかであった。芸者、こむそう軽業師の興業など他からいろいろの催しものが入り込んだことである。芸者は手踊、こむそうは村松からわざわざ頼んできて芝居をやりジンタの音楽が賑やかに、山の人達を喜ばした。山神社には十二舞が舞われ、浪花節など坑夫達を楽しませた。御神燈は銅山の入口より、全山にわたり、午後六時頃より明りをつけ十数名警備員が警戒にあたり、御神燈の整理や各長屋の警備、事件の処理防犯を取締った。このような盛大な山祭りは費用が莫大であり、坑夫達も浮かれ過ぎて一年の稼ぎを無駄にしてしまう傾向もあった。危険な仕事のため相互扶助の面は強いしきたりで結ばれていた。作業中死亡した場合、年数成績等により、一時金を給与し家族には応分の見舞金を送り、妻や幼子のある者には、子供は十八才に達するまで、鉱業所共済会で養育金を給与する義務があった。

間瀬の銅について

産出量が少く見るべきものがなかったが、品質が良く徳川末期より、明治期にかけて、燕市における銅製品の原料として、多くは使用された。鉱脈の母岩をなすものは、流紋岩、紋流岩質凝岩、ドレライトで方向は東西、南北のものが多い。東西方向のものは母岩の第三紀層の走向直交して、鉱脈の多くはこれに属する。南北のものは母岩の走向とほぼ一致する。鉱脈はおもに方解石を脈石とする黄銅鉱、方亜鉛鉱などがこの鉱脈中に含まれ、菱鉄鉱、紫水晶も多少出る。その生成順序は次のごとくなる。①方解石―②黄銅鉱―③黄鉄鉱―⑤方解石―⑤石英・鉱脈の構造は大体対象的である。母岩がドレライトであるときは鉱脈は最も規則正しく巾は一定している。母岩が凝灰岩であるときは鉱脈は多少不規則で巾が一般に広い。そして鉱脈が頁岩に合する時は細い小脈に分枝して消滅する。これは母岩の性質によるものである。

鉱山の歴史

間瀬郷土史、西蒲原郡案内、西蒲郡誌

お願い

近代生活において、使用価値を失った。日用器物、生産道具が捨て去られています。村の年輪を伝える貴重な文化的資料です。公民館で、それら蒐集して、社会教育に利用することになりました。皆さんの家でありませんか。

正しく歩こうみんなの道路

岩室中学校　草野チイ子

農薬があなたの体を蝕む

事故防止に万全を

田植もすんでいよいよ農薬の使用時期になった。毎年のことですが農薬による事故が絶えない。農薬を使ってより多くの収穫をあげようと努力しているわけですが、使用方法をあやまったり、保管方法が悪かったりして思わぬ事故を起している。農薬の取扱いには十分注意して、事故をおこさないようにして下さい。

農薬散布時の注意

○からだの悪い人は散布しない。

身体の悪い人、手足に傷のある人、生理日の婦人妊婦、年少者、老人等は作業に従事しない。

○無理のない散布労働。

同一人が数日間も連続して作業すると中毒をおこす場合が多いので、連続作業は行なわない。

○服装に気をつけよう。

不完全な服装は中毒をおこしやすい。帽子、マスク、ゴム手袋、長ズボン、ゴム長靴等を着用する。上衣、ズボン等破れのないものを着用する。

○風向きに注意。

散布の際は風向きを考えて常に身体を風上におくようにし、噴霧や散布紛を浴びないようにする。

○症状がでたらすぐやめる。

作業中に、頭痛、めまいはき気等、気持が悪くなったら直ちに作業をやめること。

○たばこは吸わないこと。

作業中はタバコをすわないこと。食事の前は必ず石けんで手や顔をよく洗い、うがいをする。

農薬散布後の注意

1、作業が終ったら、使用した器具はよく洗うこと器具に薬剤が附着していると子供の手にふれ、それが口に入って中毒の原因になる。

2、残った薬剤は納屋等に放置せず、必ず保管箱へ入れてカギをかけ厳重に保管すること。

3、空になったビンは地中深く埋め、袋は焼きすてる等完全に処理する。

4、手、足は勿論、全身を石けんでよく洗うこと。

5、衣服は下着まで全部取り替え、作業に使った衣類は必ず石けんでよく洗う。作業に使用した衣類を翌日使用しないこと。

6、作業後酒をのまないこと。夜ふかしをしないこと。気分が少しでも変になったら医師の診断を受けること。

定期消防演習

和納小学校グラウンドで実施

六月六日

村内を火災から守っております岩室村消防団員四〇九名の、昭和四十二年度定期総合消防演習が、志気を増々向上させ有事に備えて盛大に挙行されます。

今年は特に、春先から全国的に火災が多く、人的被害が多発していることから村民一人一人が火災防止に特段の御協力をお願い致します。

なお演習終了後、特に消防に協力された左記の方々が表彰されます。

期日　六月六日　午前八時三十分

場所　和納小学校グラウンド

放水は午前十一時半頃から、大字和納地内、新川の土手附近に行なわれます。

表彰者

一、火災の早期発見により協力された者

大字岩室　斎藤六一郎

大字和納六区　阿部　司

大字和納五区　相沢清次

二、常に消防団に協力している団体

越路タクシー

一人で悩まず

母子福祉会に加入を

私たちの村の母子福祉会が昨年の三月結成して二ヶがすぎましたが、20才未満の子女を育てられる母は一家の支柱となって働かねばなりません。その労力は私たち自身よくわかります。ですからこれらの母子世帯の方々と共に労苦をわかちあうための私たち母子福祉会であります。ためらうことなく会員として加入して下さい。そして手をつなぎ同じ境遇の母子が共通の話題で気楽に話合いの出来る場であって一人でも多くの母子世帯がたのみのなる会にみんなで力を合せて、楽しい会に育てたいのです。新学期も始まり、進学するお子さんたちに奨学資金、就職する人に支度資金、事業をはじめる方に事業資金や、家屋補修する方には住宅補修資金を低利で借入る方法があります。

一人で悩んでいることなく、いろいろと相談を受けますのでよろしくおねがい致します。

（岩室村母子福祉会）

海水浴場監視の間瀬小中

PTAに県知事賞牌授与さる

昭和三十年七月間瀬小学校の児童が放課後、海水浴中に誤まって深みに入り水死体となって発見されたのでその翌年からPTA会員が海水浴場に指定地域を設定、全会員が午前九時三十分から午後四時まで午前と午後二組に分別して一組二名として海水浴場の監視に当って事故防止に万全を期した。

昨四十一年には指定地域を一ヶ所にして午前三名、午後三名として児童に名札を小学校より渡し、児童が海水浴をするときは、必ず監視所に渡してから海水浴をすること、尚一時間毎に鈴によって児童、生徒に時間を報知することにより時間の観念を知らしめて来たので昭和三十年からは、溺れかかっ児童、生徒はあったが未然に防止出来たことにより三月、県青少年問題協議会より県知事賞牌が両校PTAに授与されました。

将来もこの運動をつづけていたましい水死事故防止に万全を期すことになります。

勤労者住宅資金融資のご内案

一、貸付対象者

県内事業所に雇用される勤労者で住宅を新、改、増築、購入しようとする者で次に該当する者。

(1)住宅事情の困窮度の高いもの

(2)年間所得（家族収入含む）六〇万円〜一二〇万円迄の者

(3)他に住宅資金調達困難な者

二、貸付金額　三〇万円〜六〇万円（五万円きざみ）

三、利率　日歩二銭五厘

四、償還　原則として一〇年以内月賦償還

五、申込　第四、北越、新潟相互、大光相互各銀行本支店へ

六、受付期間　六月一日〜六月三〇日迄

（商工会）